

平和な社会の構築と 暴力的過激主義の防止 における女性の役割

「コメディを通して ジェンダーの 社会的規範を変える： 笑いを添えてテロと戦う」

日時：2018年3月1日 18時半から(18時開場)

場所：上智大学四谷キャンパス

ソフィアタワー(6号館)101教室

UN Womenはジェンダー平等と女性のエンパワメントの促進のための国連機関であり、世界で女性と女児のニーズを満たす変化を加速させるために2010年に設立されました。

アジア太平洋地域においても、これまでに多くの支援を行ってきましたが、昨年4月より、日本政府との大型コラボレーションとして、コミュニティにおける女性の能力強化とジェンダー平等の推進を通じて、包括的で平和な社会を構築することを目的とした「Empowered Women, Peaceful Communities」事業を実施しています。本事業では、日本人被害者も含むテロの悲劇に直

面したバングラデシュとインドネシアにおいて、女性のアングルからテロや暴力的過激主義の脅威に対抗するという革新的な取り組みを行っています。その一環として、コメディやユーモアを通じて、排他的・差別的な社会規範を変える活動をして支援しています。

今般、本事業の実施期間が終了するにあたり、外務省SDGs推進大使であるピコ太郎氏をはじめ、アジアの国々からコメディアンや著名なユーチューバー等のソーシャル・インフルエンサーを招き、「ユーモア・コメディを通じた平和な社会の構築」をテーマに公開イベントを実施します。

アジェンダ

モデレーター: 高雄美紀 (NHK World アンカー)

敬称略

18.00-18.30	受付	
18.30-18.40	オープニング・パフォーマンス Augmented Reality(拡張現実)の技術 を用いたアートパフォーマンス	岡西 佑奈、書家 松永 貴志、ピアニスト
18.40-18.50	開会のあいさつ	堀井 巖、外務大臣政務官 (予定)
18.50-19.00	“Empowered Women, Peaceful Communities” 事業の紹介とコメディーを通じた 暴力的過激主義の防止について	加藤 美和、 UN Women アジア太平洋地域事務所長
19.00-19.20	ビデオクリップ発表 「女性の暴力的過激主義への関与」に 関する女性コメディアン主演のビデオ	プリヤンク・マテュール、 プロダクション会社Mythos Labs代表 コメディアン (インド、インドネシア)
19.20-19.30	クロージング・パフォーマンス 男女平等と平和	ピコ太郎、外務省SDGs推進大使
19.30-19.40	閉会のあいさつ	曄道 佳明、上智大学学長
19.45-20.00	スピーカーによるプレスとの対話(要登録)	

